



南弟子屈の歴史は1890(明治23)年、更科治郎氏が新潟県から熊牛原野に入植して始まりました。治郎氏は「原野の詩人」として知られる更科源藏氏(23ページ参照)の父です。教育が始まったのは1900(明治33)年。加藤宗二郎氏が、南弟子屈にあったアマ(繊維の原料となる植物)の会社の事務所に近所の子どもたちを集めて、勉強を教えたのが最初だといひます。子どもたちの熱心な勉強ぶりに打たれた役場の働きかけにより、翌1901(明治34)年に熊牛簡易教育所となり



昭栄小学校閉校

ありがとう ぼくらの学校



昭栄小学校が
来年の3月末をもって
閉校します
地域の皆さんの手によって
教育の灯がともされ
地域と共に歩み
育まれてきた学校は
2015年3月
96年の歴史に
静かに幕を閉じます

昭栄の歴史は南弟子屈開拓の歴史

ました。

1908(明治41)年、児童が2人になったのを受け、熊牛簡易教育所は閉鎖。家庭の事情が許す子どもは弟子屈尋常小学校まで通いましたが、道らしい道のない8^{キロ}あまりを通

学するのは大変な苦勞で、断念する子どももいたそうです。1914(大正3)年、地域の方たちが協力して弟子屈尋常小学校裏に寄宿舎を建設。子どもたちは自炊をしながら勉強に励みましたが、苦しい生活の中、卒業できたのは1人だけでした。

1918(大正7)年、島根県から7戸が入植。地域の学齡児童は一気に19人に達しました。これにより、教授所開設の機運が高まり、前述の更科治郎氏ほか吉田忠吉氏、岡本徳平氏、岩田栄次郎氏、堀内留次郎氏ら有志が建築委員となり、1千436円の寄附を募って、現在の南弟子屈神社近くに校舎を建築。翌1919(大正8)年5月に校舎が落成し、同月23日に校舎落成式と開校式を挙行。弟子屈尋常小学校付属熊牛原野特別教授所として開校しました。これが、昭栄小学校の前身です。

地域で生まれ 共に歩み 育まれて96年

地域と深い関わりのある学校に

開校から10年後の1929(昭和4)年4月26日、尋常小学校に昇格します。これを機に校名が「昭栄尋常小学校」となります。昭和という時代に栄える学校となることを願って命名されたといひます。

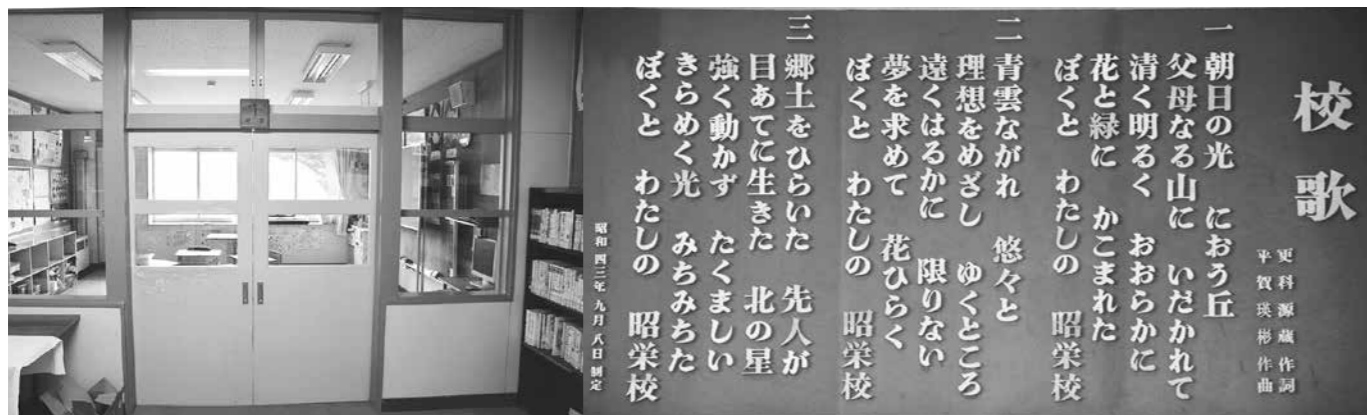
1947(昭和22)年には、学制改革により昭栄小学校と改称。その後、児童数の増加に伴い、校舎の増改築も行われました。1954(昭和29)年には、児童数が校史上最大の131人を数え、1957(昭和32)年には校舎を現在地へ移転新築しま

みんなで決めた新たなスタート

運動会や文化祭を学校と地域合同で行ったり、地域の方の協力による収穫祭や餅つきなどの特別授業を行うなど、小規模校ならではの特色ある教育が展開されてきた昭栄小学校。児童一人一人にきめ細やかな教育が行うことができるのも、小規模校の利点でした。

1919年の開校から96年。この間、700人を超える卒業生がこの学びやを巣立ち、多方面で活躍しています。現在の児童は5人。うち1人が6年生で、来春には卒業を迎えます。少子化が進む中、来年度から新入生が見込めないため、学校と地域の皆さんが検討を重ね、来年3月の閉校を決めました。

来春から児童は、統合される弟子屈小学校へ通います。



「さようなら」は言わない 昭栄小学校は ぼくらの心にずっとあるから



昭栄オリジナルを誇りに 6年 三田村 優音 君

昭栄小学校が閉校するという実感が、まだわきません。

僕は、昭栄小学校の最後の卒業生になります。卒業後、先輩たちはよく、行事の参加などで学校に帰ってきていて、僕もそれを楽しみにしていましたが、帰る場所がなくなるのはさびしいです。

この学校には、たくさんの「昭栄オリジナル」がありました。収穫祭や餅つきなど、昭栄ならではの地域の方とたくさん触れ合える行事がありました。木工や手芸を教えてもらったり、ゲートボールや石窯でのピザ作りをさせてもらったこともあります。運動会や文化祭での琴演奏など、地域の方が、僕たちの頑張りを受け止めてくれました。また、摩周蝦夷太鼓では、弟子屈の新しい文化を発信できたと思っています。

いつも地域と一緒に幸せな学校でした。そして僕は、幸せな児童の一人でした。素晴らしい思い出を「昭栄オリジナル」として誇りに、大切にしていきたいと思っています。みんなにも大切にしてほしいと思います。そして大人になったときに、みんなと「昭栄オリジナル」の話で懐かしむことができたらいいです。

閉校式での在校生あいさつから(一部抜粋・要約)



思い出の母校に心からの感謝を

昭栄小学校高田孔平校長・児童5人の閉校式・昭栄小感謝の集い(町・町教育委員会・昭栄小学校閉校事業協賛会主催)が11月16日、同校で行われました。式には、在校生と教職員のほか、卒業生や地域の方など約160人が出席。思い出の学校の閉校を惜しみました。

会から児童に記念品が贈呈されました。同校児童5人による摩周蝦夷太鼓が始まった感謝の集いでは、開校70周年記念事業以降に在任した歴代PTA会長と、特別功労者として小澤商店に感謝状と記念品が贈られました。アトラクションは弟子屈中学校吹奏楽部による演奏と、児童に保護者、地域の方も加わった摩周蝦夷太鼓。会場からは惜しめない拍手が送られました。